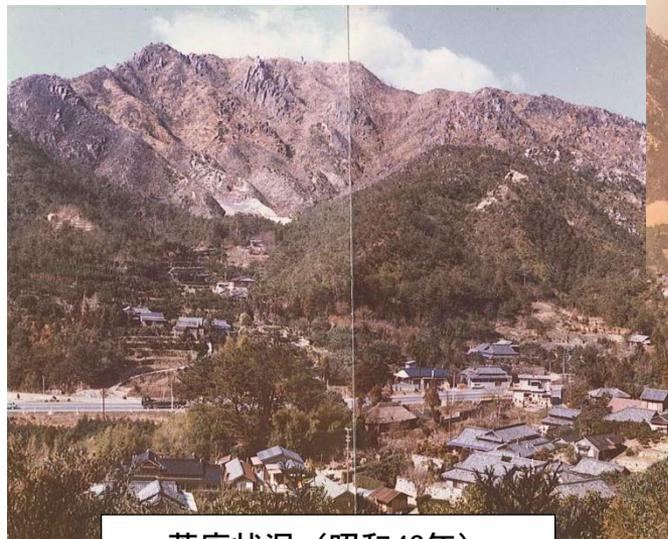


48 西目山地区における航空実播工

ほうふ
山口県（防府市）



荒廃状況（昭和42年）



施工状況（施工中）



施工状況（施工直後 昭和43年）



現在の状況（平成25年）

西目山火災跡地復旧計画位置図



○所在場所 山口県防府市大字西目山地内

○施設・工法の概要

航空実播工44ha、山腹工110ha、溪間工16箇所、保安林改良250ha

○解説

昭和42年9月18日から3日間燃え続けた防府市西目山を中心とする山火事は、防府市、山口市にまたがり570haを焼失し8,500万円（当時被害額）に及ぶ被害を与えました。この地域は、地味のせき悪な花崗岩地帯で、普通造林では緑化が困難であり、また土石の流出による下流の人家、農耕地に対する被害を防止するため古くから治山事業を実施して流域の保全を図ってきましたが、この山火事により地表の植生が焼失枯死したため再び災害の危険性が高まっていました。

急斜面や岩石地等のため人力作業が困難な箇所及び経済林として成林しがたい区域について、ヘリコプターによる航空実播工により草本及び木本の種子散布を行い緑化を図りました。